



ZOKOKU BRAND
DEBUT

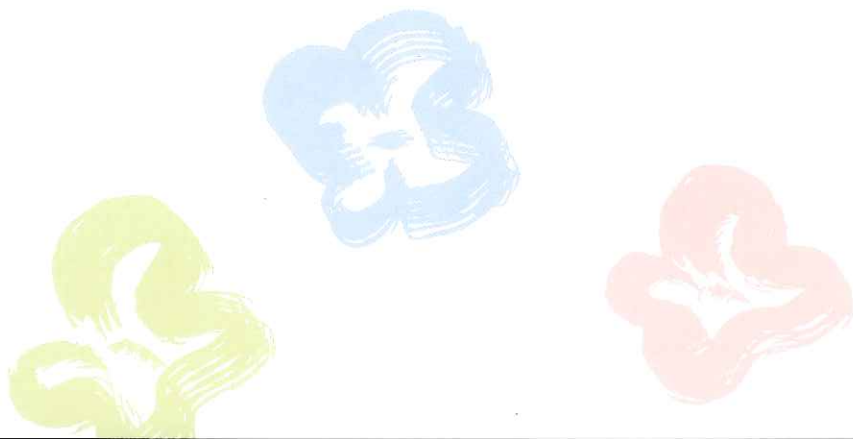
若手漆芸作家

香川漆芸美術展 ～その始まりと今～

8/6日(土) ▶ 9/19日(月・祝)

The Kagawa Museum

香川県立ミュージアム





彫漆茶箱一式「椿庭萱堂」(2015年)

浅野 絵莉

ASANO ERI



作品コメント

「椿庭萱堂」とは、「椿」は父を、「萱」は母のことを指し、両親が健康であるという意味です。研究所を修了するにあたり、両親への感謝をこめて、この題材を選びました。

箱は乾漆で、より自由に描くために茶箱では珍しい被蓋にし、乾漆らしいやわらかな形を目指しました。上面と長辺の側面は椿の花のために黒→白→赤→黒、短辺の側面は葉をイメージした緑から黒、と分けて塗り重ねています。実際に香川で出会った椿をもとにデザインし、葉は白から山吹色のグラデーションで萱草を描いています。

略歴

- 1986 千葉県生まれ
- 2010 東京藝術大学美術学部工芸科漆芸専攻 卒業
- 2015 香川県漆芸研究所 研究生課程 修了
- 2016 香川県漆芸研究所 研究員課程 修了
- 2016 第33回日本伝統漆芸展 入選 蒔醬菓子器「あおあお」



蒔醬丸盆「断面」(2001年)

網 直紀

AMI NAOKI



作品コメント

大学の専攻を決める時に、初めて漆に触れました。漆は通常、他の素材と組み合わせる事で作品になっていきますが、何に塗るか、どう扱うかによって、無限に近い表現のバリエーションがある所に魅力を感じています。本作では、積層で作成した盆に、蒔醬の技法を用いて、黒字に白のみのシンプルな配色でキャベツの断面を表現しました。

略歴

- 1976 栃木県生まれ
- 2000 東京藝術大学美術学部工芸科漆芸専攻 卒業
- 2003 香川県漆芸研究所 研究生課程 修了
- 2001 第44回伝統工芸四国展 磯井如眞賞 蒔醬丸盆「断面」
- 2005 第22回日本伝統漆芸展 入選 蒔醬色紙箱「刻々と」
- 2006 第53回日本伝統工芸展 入選 蒔醬合子「こくりこ」
- 2006 第23回日本伝統漆芸展 入選 蒔醬色紙箱「白露」



彫漆箱「Bride」(2009)

加藤 友理

KATO YURI



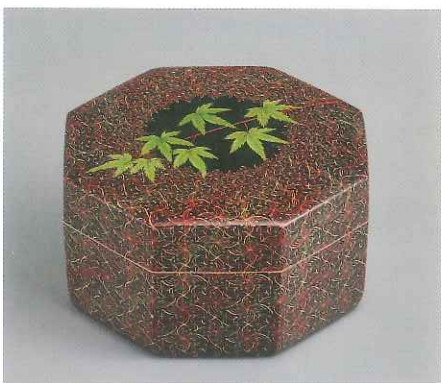
作品コメント

素地はシナ合板の積層で作りました。白から赤へのグラデーションで約60回塗り重ねています。

バラの花束をイメージして地色の白で「ジツキ」をすることでかすみ草を表現しています。

略歴

- 1983 京都府生まれ
- 2003 京都市伝統産業技術者研修専科 修了
- 2007 香川県漆芸研究所 研究生課程 修了
- 2004 第33回日本伝統工芸近畿展 入選 乾漆盛器「明け方の薄い月」
- 2007 第36回日本伝統工芸近畿展 入選 乾漆蒔繪菓子器「春情」
- 2008 第37回日本伝統工芸近畿展 入選 彫漆小箱「朝露」
- 2009 第38回日本伝統工芸近畿展 入選 彫漆箱「bride」
- 2010 京都漆器工業協同組合理事長賞 受賞
- 2011 第40回日本伝統工芸近畿展 入選 存清小箱「Promenade」(以後連続5回入選)
- 2011 磯井正美賞展あすなる賞 受賞 漆塗りガラス「日月星辰」



籃胎蒔醬八角箱「青葉錦」(2015)

神垣 夏子

KAMIGAKI NATSUKO



作品コメント

初夏の雨上がりに、きらきらしたもみじの葉の鮮やかな青の样に感動し、それを表現したいと思い制作しました。

背景には伝統的な線彫りを施し、滲んだような風合いにするために色の塗り重ねに工夫をしました。

略歴

- 1981 東京都生まれ
- 2004 中央大学理工学部土木工学科 卒業
- 2010 香川県漆芸研究所 研究生課程 修了
- 2015 香川県漆芸研究所 研究員課程 修了
- 2013 第56回伝統工芸四国展 日本工芸会賞「縄胎蒔醬丸箱」
- 2014 第61回日本伝統工芸展 入選 籃胎蒔醬茶箱「長楽未央」
- 2014 第31回日本伝統漆芸展 入選 推漆茶器「Stendhal」
- 2015 第62回日本伝統工芸展 入選 籃胎蒔醬八角箱「青葉錦」
- 2015 第32回日本伝統漆芸展 入選 推白茶器「Juex déau」
- 2016 第33回日本伝統漆芸展 入選 籃胎蒔醬重箱「線線」



乾漆蒔醬箱「秋影」(2015)

北岡 道代

KITAOKA MICHIO



作品コメント

素地は乾漆造りで、黒漆を10回塗り重ねた後、ひとつひとつ連なった丸を全面に彫ってから朱漆を埋め、黒漆を輪が広がるように塗った後、つたの葉を洗金で仕上げました。秋が深まる様子を表現しています。

略歴

- 1977 香川県生まれ
- 1996 香川県立高松北高等学校 卒業
- 2009 父 北岡省三に師事
- 2011 第54回伝統工芸四国展 奨励賞 乾漆蒔醬箱「姪林檎」
- 2012 第29回日本伝統漆芸展 入選 存清蒔醬箱「清閑」
- 2013 第30回日本伝統漆芸展 入選 乾漆蒔醬箱「紅輪」
- 2014 第61回日本伝統工芸展 入選 乾漆花器「煌」
- 2014 第31回日本伝統漆芸展 朝日新聞社賞 乾漆蒔醬花器「揺らぎ」
- 2015 第62回日本伝統工芸展 入選 乾漆蒔醬箱「秋影」
- 2015 第32回日本伝統漆芸展 入選 乾漆蒔醬箱「朝霞」
- 2016 第33回日本伝統漆芸展 入選 乾漆蒔醬盆「しじま」



彫漆風華文箱(2013)

桐原絵梨子

KIRIHARA ERIKO

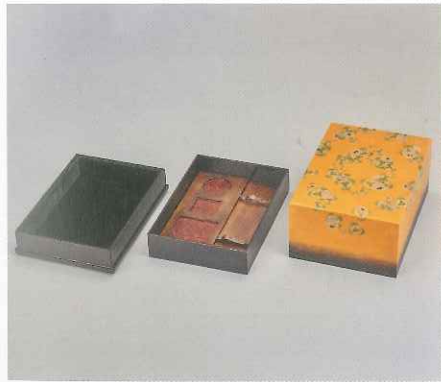


作品コメント

淡い色調で50回程漆を塗り重ね、その後、彫刻し、さわやかな風が吹く初夏のイメージで制作しました。

略歴

- 1979 広島県生まれ
- 2002 広島修道大学商学部 卒業
- 2005 香川県漆芸研究所 研究生課程 修了
- 2007 香川県漆芸研究所 研究員課程 修了
- 2006 第23回日本伝統漆芸展 入選 彫漆箱「風蘭」
- 2007 第54回日本伝統工芸展 入選 彫漆色紙箱「蘭華」
- 2007 第24回日本伝統漆芸展 入選 彫漆盆「遊」
- 2008 第25回日本伝統漆芸展 入選 彫漆風車文水指
- 2009 第26回日本伝統漆芸展 入選 彫漆短冊箱「遊泳」
- 2010 第27回日本伝統漆芸展 入選 彫漆箱「雨あがり」
- 2011 第54回日本伝統工芸中国支部展 入選 彫漆渦文皿
- 2013 第56回日本伝統工芸中国支部展 入選 彫漆風華文箱



蒔醬文具箱「夢で逢えたら」(2016)

小久保さくら

KOKUBO SAKURA



作品コメント

幼いころ、友人とよくシロツメグサの冠を作って遊びました。どこにでも咲く小さな花ですが、見かけるとその時に感じた日差しの暖かさや地面いっぱい広がる草の香り、無邪気に遊んだ記憶を思い出します。花を一つずつ縮んでいくように、言葉を書き綴ってほしいという想いを込めて、手紙を書くための道具を収納する箱を制作しました。

略歴

- 1986 愛知県生まれ
- 2009 愛知教育大学教育学部生涯教育課程造形文化コース 卒業
- 2011 輪島漆芸技術研修所特別研修課程専修科 修了
- 2016 香川県漆芸研究所 研究生課程 修了
- 2014 第57回伝統工芸四国展 入選 存清丸盆「どくだみ」



蒔醬青栗料紙箱(2015)

小玉 真裕

KODAMA MAYU



作品コメント

北海道南茅部の縄文遺跡で、古代から続く青い栗の森を見ました。その青の中に隠れるように、栗の実が小さく実っている様子を表現しています。

素地は乾漆で、半紙が取り出しやすい胴張りの形にしました。蓋は蒔醬の技法で、枝がのびる方向に沿って往復彫りし、2種類の青に近い緑色の漆を埋めました。葉の裏と表の色の違いに注目したためです。隠れる栗の実は、周りを暗い色にぼかして埋めることで、同じ色であっても存在感を出しています。

略歴

- 1982 北海道生まれ
- 2005 北海道大学水産学部 卒業
- 2015 香川県漆芸研究所 研究生課程 修了
- 現在 香川県漆芸研究所 研究員
- 2015 第62回日本伝統工芸展 入選 蒔醬軸箱「好文木」
- 2015 第58回伝統工芸四国展 奨励賞 蒔醬青栗料紙箱



彫漆箱「野葡萄」(2007)

菅野かおり

SUGANO KAORI



作品コメント

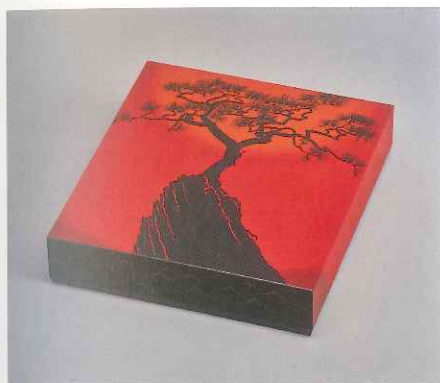
素地は麻布を漆で固める乾漆で制作。両手で包みこめるような小ぶりなサイズと丸みを帯びた形で可愛らしい雰囲気表現しました。

水色の色漆と濃い茶色の色漆を約25回ずつ、計50回塗り重ねた後、文様を彫刻しました。野葡萄の葉、茎、実を立体的に彫刻し、背景(水色)も薄く葉の形を彫刻した部分があります。

略歴

1976 広島県生まれ
1998 広島修道大学 中途退学
2001 香川県漆芸研究所 研究生課程 修了

2001 第44回伝統工芸四国展 三越高松店賞 彫漆箱「雨音」
2002 第19回日本伝統漆芸展 入選 彫漆蒔繪器「花心」
(以後5回入選)
2004 第51回日本伝統工芸展 入選 彫漆蒔繪箱「秋暮るる」
2005 第52回日本伝統工芸展 入選 彫漆蒔繪箱「水無月の頃」
2006 第53回日本伝統工芸展 入選 彫漆華文短冊箱
2006 第49回日本伝統会中国支部展 入選 彫漆蒔繪箱「山帰来」
2007 第54回日本伝統工芸展 入選 彫漆箱「野葡萄」
2007 平成19年度ポーラ美術振興財団在外研修員(スペインバルセロナへ)



蒔繪色紙箱「望」(2008)

藤村 由

FUJIMURA YUI



作品コメント

春の太陽を背に太平洋に浮かぶ小島に根を張り、まだ強い西風に吹かれながらそびえ立つ松の木の不変の姿を表現しました。

背景の空は、太陽を中心とした同心円上に往復彫りを施し、朱色の濃淡を色埋めの際のぼかしを繰り返すことで表しました。松葉と根元の朱色の線描は、その後に彫り重ねたものです。

略歴

1978 高知県生まれ
2001 京都市立芸術大学美術学部 卒業
2005 香川県漆芸研究所 研究生課程 修了

2005 第48回伝統工芸四国展 日本工芸会賞 夕風
2007 第50回伝統工芸四国展 五十周年記念岡田常夫賞 蒔繪額「黒猫」
2008 第55回日本伝統工芸展 入選 蒔繪色紙箱「望」
2009 第56回日本伝統工芸展 入選 蒔繪短冊箱「夏隣」
2009 第26回日本伝統漆芸展 入選 蒔繪短冊箱「朝露」
2011 第58回日本伝統工芸展 入選 蒔繪色紙箱「春潮」
2012 第29回日本伝統漆芸展 入選 蒔繪盆「夕影」
2013 第30回日本伝統漆芸展 入選 蒔繪色紙箱「夏の終り」



乾漆蒔繪箱「二人静」(2016)

牧野さつき

MAKINO SATSUKI



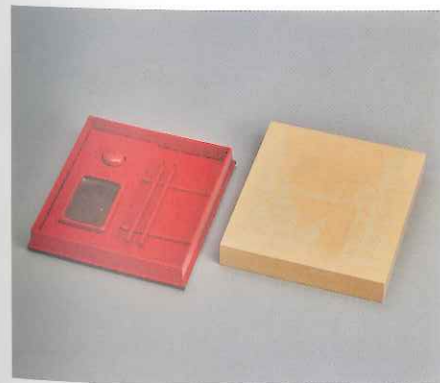
作品コメント

清楚に咲く二人静の花に自分自身の生き方のヒントがあるのではないかと考え、モチーフとしました。また、香川県漆芸研究所の研究生課程を修了して間もない頃に制作を始めた作品で、乾漆と蒔繪の技法を振り返るため、スタンダードな箱型の造形に線彫り蒔繪で加飾しました。

略歴

1989 茨城県生まれ
2012 筑波大学芸術専門学群 卒業
2015 香川県漆芸研究所 研究生課程 修了
2016 香川県漆芸研究所 研究員課程 修了

2015 第58回伝統工芸四国展 高松三越賞「星躍る」
2016 第33回日本伝統漆芸展 入選 乾漆蒔繪箱「二人静」



蒔繪硯箱「白無垢」(2016)

松木 桃子

MATSUGI MOMOKO

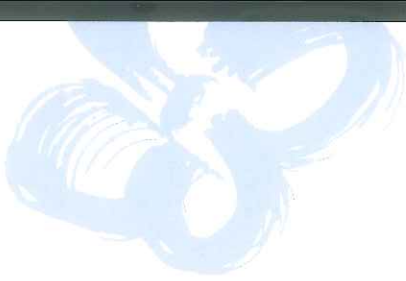


作品コメント

花嫁衣裳の白無垢を表しています。前面に往復彫りをし、白漆で埋めています。白漆と銀粉のみを使うことにより真白で無垢な姿を追求しました。蓋を開けると本朱色になっています。これは白無垢のあとに着る赤打掛を表現しています。白無垢は死装束であり、花嫁は相手の家の血に染まるといった意味の赤打掛を着ます。昔日の花嫁の内懐を想像しながら制作しました。

略歴

1991 愛媛県生まれ
2013 横浜美術大学美術学科 卒業
2016 香川県漆芸研究所 研究生課程 修了
現在 香川県漆芸研究所 研究員



彫漆箱「ひだまり」(2006)

峰岸奈津子

MINEGISHI NATSUOKO



作品コメント

手まりをイメージした彫漆箱。2作目の手まりシリーズの作品です。朱のグラデーションで、陽のあたる「ひだまり」を表現しています。

略歴

- 1976 埼玉県生まれ
- 1999 武蔵野美術大学工芸工業デザイン学科 卒業
- 2003 香川県漆芸研究所 研究生課程 修了
- 2005 第22回日本伝統漆芸展 入選 彫漆箱「華」
- 2006 第53回日本伝統工芸展 入選 彫漆箱「ひだまり」
- 2006 第23回日本伝統漆芸展 入選 彫漆箱「氷蓮華」
- 2007 第24回日本伝統漆芸展 入選 彫漆水指「爽」



乾漆蒔髹箱「輪」(2014)

宮本 奈奈

MIYAMOTO NANA



作品コメント

素地は乾漆造りで、加飾は蒔髹技法です。
丸い箱の形を活かして円周状に箱の表面全体をリズムカルな水のの流れに見えるように長短や強弱を意識して彫り、水の流れを表現しました。
初夏の緑溢れる山の中を流れる小川をイメージして、数種類の緑色を埋めました。
小川の中を悠々と遊ぶように泳いでいる魚を描くことで水の流れのリズムに変化を与え、初夏の暑さの中にも涼やかな雰囲気になるようにしました。

略歴

- 1980 福岡県生まれ
- 2002 四国学院大学文学部人文学科 卒業
- 2012 北岡省三氏(香川県文化功労者)に師事
- 2012 第55回伝統工芸四国展 入選 乾漆布目塗盆「秋野」
- 2013 第56回伝統工芸四国展 入選 乾漆蒔髹蔓草文花器
- 2014 第57回伝統工芸四国展 奨励賞 乾漆蒔髹箱「輪」
- 2015 第58回伝統工芸四国展 入選 蒔髹箱「紫陽花」



乾漆蒔髹箱「寒夜」(2013)

藪内 江美

YABUUCHI EMI

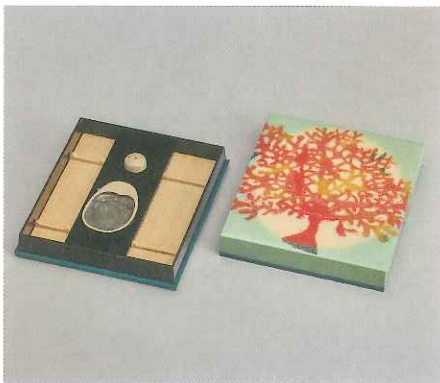


作品コメント

天板には見上げた夜空から舞い降りてくる雪片をモチーフとし、大小の雪を配することで、遠近を感じゆっくりと落ちてくる様を描きました。側面は街路樹の背景を斜めのタッチで彫ることで、雪の降る風景を描きました。天板は降り始めた瞬間、側面は降り続く様子です。天板と側面で時間と視点を変えた場面を描き、雪が降る待ち遠しい思いを表現しました。

略歴

- 1980 奈良県生まれ
- 2004 愛知教育大学教育学部生涯教育課程造形文化コース 卒業
- 2007 香川県漆芸研究所 研究生課程 修了
- 2008 香川県漆芸研究所 研究員課程 修了
- 現在 香川県漆芸研究所 主任技師
- 2010 第27回日本伝統漆芸展 日本伝統漆芸展新人賞 乾漆蒔髹箱「秋陽」
- 2010 第53回伝統工芸四国展 日本工芸会四国支部奨励賞 蒔髹箱「秋光」
- 2011 第28回日本伝統漆芸展 文化庁長官賞 乾漆蒔髹箱「爽籟」
- 2012 第55回伝統工芸四国展 日本工芸会賞 乾漆蒔髹水指「blue moment」
- 2013 第30回日本伝統漆芸展 MOA美術館賞 乾漆蒔髹箱「寒夜」
- 2013 第60回日本伝統工芸展 朝日新聞社賞 乾漆蒔髹箱「味爽」
- 2015 第58回伝統工芸四国展 日本工芸会賞 乾漆蒔髹盛器「幽景」



存清硯箱「生まれる」(2016)

山田 果林

YAMADA KARIN



作品コメント

インドネシアのメノという小島の海に潜った時、色鮮やかな珊瑚に目を奪われ、作品にしようと思いました。
‘点’は、私にとって‘始まり’をイメージするものです。その‘点’を使って作品展開しています。
点は卵、点の集まりは珊瑚を表現しています。いくつかの卵の点は、周りを彫り金消し粉を蒔いています。また、中の下水板は砂浜を、水滴はウニの骨をイメージしています。

略歴

- 1987 香川県生まれ
- 2010 京都造形芸術大学芸術学部美術・工芸学科 卒業
- 2016 香川県漆芸研究所 研究生課程 修了



若手漆芸作家
香川漆芸美術展～その始まりと今～

技法	作品名	作者	制作年	寸法 (縦×横×高 cm)	出品歴
彫漆	彫漆茶箱一式「椿庭萱堂」	浅野 絵莉	2015	22×14×15.5	漆芸研究所修了作品
蒔醬	蒔醬丸盆「断面」	網 直紀	2001	径60	第44回伝統工芸四国展磯井如眞賞
彫漆	彫漆箱「Bride」	加藤 友理	2009	24×24×15.5	第38回日本伝統工芸近畿展
蒔醬	藍胎蒔醬八角箱「青葉錦」	神垣 夏子	2015	17×17×10	第62回日本伝統工芸展
蒔醬	乾漆蒔醬箱「秋影」	北岡 道代	2015	径15×15.8	第62回日本伝統工芸展
彫漆	彫漆風華文箱	桐原 絵梨子	2013	14.5×23×12.5	第56回伝統工芸中国支部展
蒔醬	蒔醬文具箱「夢で逢えたら」	小久保さくら	2016	27×19.4×13	漆芸研究所修了作品
蒔醬	「蒔醬青栗料紙箱」	小玉 真裕	2015	30×41×8	第58回伝統工芸四国展 奨励賞
彫漆	彫漆箱「野葡萄」	菅野 かおり	2007	14.2×19.3×11	第54回日本伝統工芸展
蒔醬	蒔醬色紙箱「望」	藤村 由	2008	30.5×27.5×6	第55回日本伝統工芸展
蒔醬	乾漆蒔醬箱「二人静」	牧野 さつき	2015	16×27.8×10.2	第33回日本伝統漆芸展
蒔醬	蒔醬硯箱「白無垢」	松木 桃子	2015	26.2×23.2×5.5	漆芸研究所修了作品
彫漆	彫漆箱「ひだまり」	峰岸 奈津子	2006	径16×13	第53回日本伝統工芸展
蒔醬	乾漆蒔醬箱「輪」	宮本 奈奈	2014	径25.3×8.5	第57回伝統工芸四国展 奨励賞
蒔醬	乾漆蒔醬箱「寒夜」	藪内 江美	2013	径22.6×13	第30回日本伝統漆芸展 MOA 美術館賞
存清	存清硯箱「生まれる」	山田 果林	2016	26×23×5.5	漆芸研究所修了作品

The Kagawa Museum

香川県立ミュージアム

〒760-0030 香川県高松市玉藻町5番5号
TEL.087-822-0002(代表)
<http://www.pref.kagawa.lg.jp/kmuseum/>



【交通案内】

- JR高松駅から東へ900m
- ことடன்高松築港駅から東へ800m
- ことடன்片原町駅から北へ500m
- ことடன்バス「県民ホール前」から南へ200m
- 岡山・愛媛・高知方面から…高松自動車道 高松西ICより車で約30分
- 徳島方面から…高松自動車道 高松中央ICより車で約25分
- 高松空港から…JR高松駅までリムジンバスで35分
- 【駐車場】
- 当館地下駐車場(50台・有料) / 香川県玉藻町駐車場(有料)

香川漆芸美術展～その始まりと今～ 若手漆芸作家

平成28年8月6日(土)～9月19日(月・祝)
香川県立ミュージアム 常設展示室4・5

刊行 高橋 一夫
発行日 平成28年8月
編集・発行 香川県立ミュージアム

